

### 1 結果の概要（全体の傾向）

「学校の授業が分かる」と回答した児童生徒の割合が増えています。

#### ■岐阜県の児童生徒は…

##### 勉強が分かるようになるまで努力しています。

- 学校の授業が分かる。(小90.5%、中76.4%)【図1】
- 授業で、先生や友達の話をよく聞いている。(小92.9%、中89.5%)
- ・自分で計画を立てて勉強をしている。(小70.3%、中42.0%)【図2】

##### 生活習慣が身に付き、規範意識が高いです。

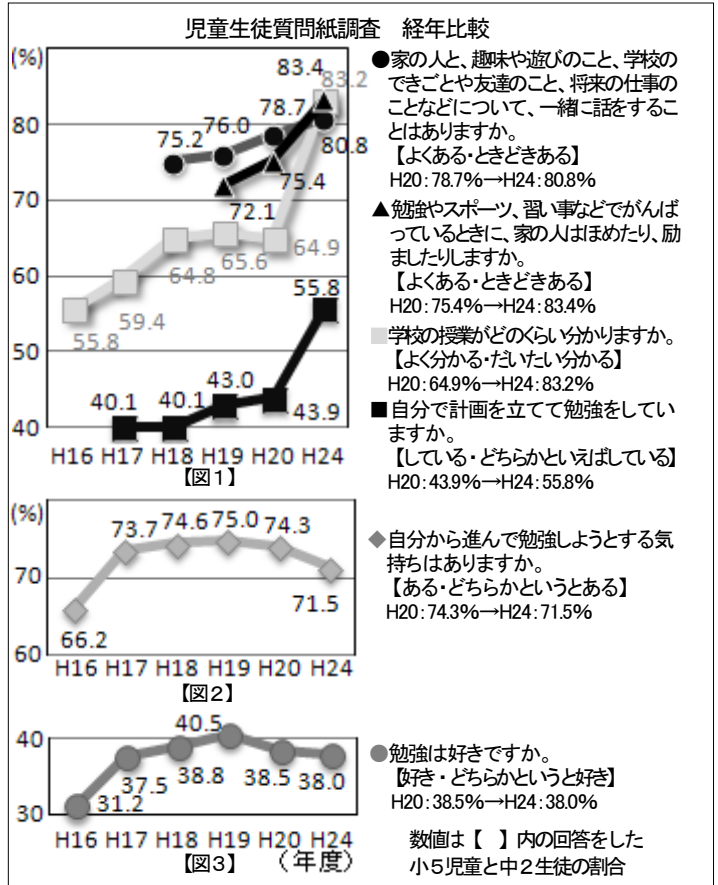
- 朝食を毎日食べている。(小97.4%、中94.5%)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(小97.5%、中95.6%)
- 学校のきまりを守っている。(小88.7%、中91.3%)
- 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。(小88.9%、中84.3%)

##### 人との関わりを大切にしています。

- 学級のみみんなで何かに取り組むことは楽しい。(小90.9%、中84.5%)
- 家の人と、趣味や遊びのこと、友達のことなどについて話をする。(小82.3%、中79.1%)【図1】
- 自分の家の近くに住んでいる人に、あいさつをする。(小91.7%、中87.8%)

##### 保護者の方に支えられています。

- 家の人はほめたり、励ましたりする。(小87.6%、中80.5%)【図2】
- やらなければならないことができなかつたり、やっではいけないことをしてしまつたりしたときに、家の人は注意をする。(小96.3%、中95.5%)



##### 「学習意欲」が伸び悩んでいます。

- 学年が上がるにつれて、低くなる傾向も見られます。
- △自分から進んで勉強しようとする気持ちがある。(小80.4%、中63.7%)【図2】
- ▲勉強は好き。(小58.1%、中22.5%)【図3】

※( )内の数値は、「どちらかといえば」「だいたい」という回答を含んだ児童生徒の回答の割合。「小」は小学校4、5年生の平均、「中」は中学校2年生の平均。

#### ■意識調査とペーパーテストの結果に相関があると考えられものがあります。

##### 【児童生徒の意識調査における回答】

- ・学校のきまりを守っている。
- ・朝食を毎日食べている。
- ・学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。
- ・家の人と、趣味や遊びのこと、学校のできごとや友達のことなどについて、一緒に話をする。
- ・勉強が好き。
- ・学校の授業が分かる。
- ・学校の授業中、分からないときは質問する。
- ・自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・授業やテストで間違えた問題やよく分からなかった問題を、後で勉強している。
- ・授業で、先生や友達の話をよく聞いている。
- ・授業で、自分の考えをよく発表している。
- ・授業で、自分の考えや友達の考え、学習した内容などを分かりやすくノートに書いている。
- ・学級のみみんなで何かに取り組むことは楽しい。
- ・学級や学校での生活をよりよくするための話し合いに進んで参加している。

ペーパー  
テストの  
結果

正答率が  
高い傾向  
が見られ  
ます。

## 学校が、児童生徒の学力向上に向けて頑張っています。

### ■岐阜県の先生は…

#### 全校体制で指導改善を進めてきました。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たった。(小99.7%、中98.4%)
- 指導計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合った。(小96.0%、中88.9%)
- ・各種調査問題(県の学習状況調査問題、全国学力・学習状況調査問題を含む)を活用して、自校の児童生徒の学習状況の分析を行った。(小78.6%、中55.0%)

#### 児童生徒一人一人の学習状況に応じた指導を充実させてきました。

- ・算数・数学の授業において習熟度別少人数指導を行った。(小71.7%、中65.0%)
- ・昼休みや放課後等を利用した補足的な学習サポートを実施した。(小70.6%、中61.9%)

#### 好ましい人間関係を育てる指導を進めてきました。

- 日ごろから、児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる指導をしている。(小99.7%、中99.5%)
- 特別活動において、他者と議論して集団としての意見をまとめる指導をしている。(小89.3%、中92.1%)

#### 家庭と連携して、学習習慣の定着を図る取組を進めてきました。

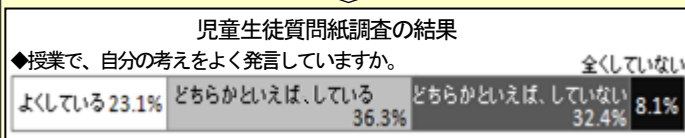
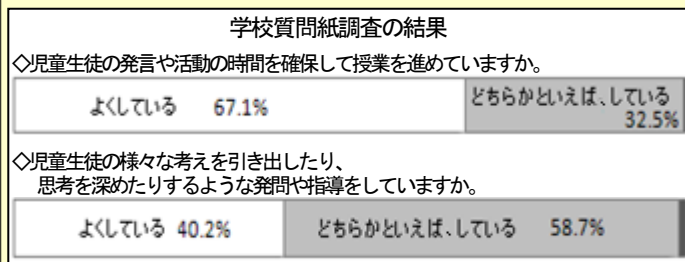
- 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしている。(小93.9%、中82.5%)

小・中学校の9割以上が、「よくしている」「どちらかといえばしている」と回答している設問の主なもの

- 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。
- 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。
- 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を図っていますか。
- 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。
- 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書くよう指導をしていますか。
- 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導をしていますか。
- 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。

#### 児童生徒が発言できるよう授業を進めてきました。

その一方で、「自分の考えをよく発言している」と回答している児童生徒の割合は6割程度にとどまっています。

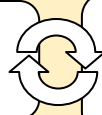


※( )内の数値は、「どちらかといえば」「だいたい」という回答を含んだ学校の回答の割合。「小」は小学校4、5年生の平均、「中」は中学校の平均。

## 2 指導改善のポイント

### ① これまで行ってきた基礎学力の定着を図る取組を大事にしましょう。

児童生徒一人一人の  
学習状況の把握・分析



指導改善

- 習熟度別少人数指導等、学習状況に応じた指導
- 家庭と連携した学習習慣や生活習慣の定着を図る指導

### ② 児童生徒が学習内容に興味・関心を高め、主体的に学んで「分かった」と実感できる授業ができるよう、教材研究を一層充実させましょう。

授業改善のための校内体制づくり

- ①研究主任等の実践を牽引する教員を中心として全校で組織的な授業改善を推進できる体制を確立し、機能させましょう。
- ②各教科において、教科主任等の各教科指導の実践を牽引する教員を中心として、教材研究を一層充実させましょう。

個に応じた指導のポイント

- ①本時の目標を明確にしましょう。
- ②指導により一人一人の児童生徒が「何が、どのように分かったのか」「何が、どのようにできるようになったのか」を確かめましょう。
- ③本時の目標に照らして、さらに指導・援助が必要な児童生徒には、その児童生徒の実態に応じた指導を行いましょう。